

共進化型最適化による2次元コード真贋判定用電子透かし設計方式の研究開発

小野 智司 鹿兒島大学

研究開発期間：フェーズⅠ：平成26年度，フェーズⅡ：平成27年度～平成28年度

1. 研究開発の目的

電子チケット等で使用される2次元コードの真贋判定技術を実現する。不正に複製された2次元コードを判別することができる。

2. 研究開発の概要

携帯電話スクリーン用の真贋判定技術はこれまでに存在しなかった。申請者は、実機を用いた自動設計システムを提案し、その実現に道を拓いた。「真贋判定用電子透かし」およびその「抽出アルゴリズム」を同時に設計することで、疑陽性率0.01%、偽陰性率5%を実現する(抑止力として十分な性能であることを確認済み)。

